

鷺娘

花競四季寿より

浄瑠璃 竹本京之助 竹本早苗
三味線 鶴澤津賀花 鶴澤弥々
お囃子 仙波宏多社中

人形解説

浄瑠璃 竹本土佐子
三味線 鶴澤津賀花

尼が崎の段

絵本太功記

二人三番叟



あつぎひがし座
第50回記念
人形浄瑠璃自主公演

令和7年9月7日(日)
開演13:30(開場12:30)

入場無料
(先着360名様)

会場：厚木市文化会館小木ール
(厚木市恩名1-9-9-20)
アクセス：小田急小田原線本厚木駅下車徒歩15分

共演：厚木王子高校人形浄瑠璃部 ひがし座
共催：厚木市
後援：神奈川県民俗芸能保存協会
助成：芸術文化振興基金助成事業
：公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団
：神奈川県文化芸術活動団体事業補助金対象事業
主催：あつぎひがし座 TEL 046-222-4151(林田)



厚木市文化プログラム
MAC
CUL
ががわら
県民文化祭

ーあらずいー

◆二人三番叟（ににんさんばそう）

能の「翁」を義太夫になおしたもので、五穀豊穡、天下泰平を祈るおめでたい儀式舞踊です。冠、衣服を正し、塩で舞台を清めた後、両手に鈴と扇を持ち、種まきの振りになります。一方が舞い疲れてくると他方が励ましに来て、無事舞納めます。

◆絵本太功記（えほんたいこうき）

歴史上の事件である「本能寺の変」を題材に、明智光秀が主君織田信長を討つてから、豊臣秀吉軍に敗れるまでの出来事を描いた時代物の名作です。

◇尼が崎の段（あまがさきのだん）

武智光秀（明智光秀）の母皐月（さつき）が隠居した尼が崎を舞台に、光秀の息子十次郎と許婚初菊との悲しい祝言と出陣の別れ、真柴久吉（豊臣秀吉）と間違えて皐月を刺してしまう光秀の苦悩が描かれています。部活動で初めて練習し、上演した演目です。

◆花競四季寿（はなくらべしきのことぶき）

四季折々の情景を綴った景事（音楽性と舞踏的要素が濃い演目）より鷺娘（冬）を上演します。

◇鷺娘（さぎむすめ）

一面雪景色に降り立った鷺の精が、春の芽生えを祝福しながら二本の傘を自在に操って華やかに舞います。



絵本太功記 十次郎と初菊



花競四季寿 鷺娘

ーあつぎひがし座についてー

神奈川県神奈川県の郷土芸能の一つに江戸の昔から続く「相模人形芝居」があり、県内に五座が現存しています。厚木市内には林座・長谷座の二座が活動し、中でも林座は県立厚木東（現厚木王子）高校の近くに拠点があり、当時高齢化による座員の減少で後継者育成に悩んでいたことから、厚木東（現厚木王子）高校に人形浄瑠璃部が生まれました。

昭和四十六年神奈川県厚木東（現厚木王子）高校の当時の中村校長（故）は高校生の手で郷土芸能を伝承と後継者育成、及び情操教育の一環とするべく、林座座長岩崎正美（故）と、沼田貞芳教頭（故）を中心に人形浄瑠璃部設立の準備を勧めました。そこに二十五名の生徒が集まり、人形指導に林座座員の川瀬米子師（故）を迎えて「人形浄瑠璃同好会」を発足し、翌年「人形浄瑠璃部ひがし座」がスタートしました。

昭和五十年、卒業した一期生は「ときわ座」を設立し、芸の更なる向上と伝承、郷土芸能の普及への活動を始めました。その後昭和五十四年「林座若手後継者」平成元年に「ひがし座OB会」、平成四年「ひがし座OG会」に変更後、平成七年「あつぎひがし座」と改称し現在に至っています。

当初、毎年新しい演目に挑戦し続けてきた「自主公演」は沼田貞芳先生の大きな牽引力で、皆で稽古し、上演を続けてきました。人形の首（かしら）・手・足、さらに小道具や大道具に至るまで、全て沼田先生の手作りで揃え、衣装のほとんどは沼田夫人（故）のご指導のもとで座員が縫いました。設立時から続く年一回の自主公演を中心に厚木王子（旧厚木東）高校人形浄瑠璃部の指導、依頼公演などの活動を続けています。



人形浄瑠璃同好会発足当時の集合写真



リヨンのサンジャン教会横の広場において「戻り橋」

ー沿革ー

あつぎひがし座のこれまでの活動を抜粋し五十年を振り返ります。

昭和四十六年 人形浄瑠璃同好会発足

文化祭で「絵本太功記 尼が崎の段」初演

五十一年 「ときわ座」結成第一回自主公演を中町会館で開催（以後毎年開催）、第四回相模人形芝居大会にて林座の演目に若手後継者として出演

日上市祭礼「日立風流物」出演

横濱博覧会「鳴門」上演

創作人形芝居「三番叟、月姫・星姫」を初演

女流義太夫演奏会ゲスト出演

創作人形芝居「雨月道成寺」初演

横濱・リヨン姉妹都市提携三十五周年記念事業にてフランスで「三番、戻り橋」上演

大和浄瑠璃同好会や座間浄曲同好会と共演

創部二十五周年記念「人形と写真でたどるあつぎひがし座の三十五年」展開催

人形浄瑠璃部ひがし座の指導開始

かながわゆめ国体「伝統とスポーツの祭典」にて「絵本太功記」上演

「竹本駒之助義太夫節浄瑠璃の世界」出演

厚木市「第一回郷土芸能まつり」出演（以後毎年出演）

「あつぎひがし座三〇年の軌跡」展を市民ギャラリーで開催

相模原市（旧藤野町）大石神社奉納人形浄瑠璃に出演

徳島国民文化祭「鷺娘」上演

世田谷区豪徳寺たまにやんまつり「鳴門」上演

国際ソロプチミスト厚木より伝統芸能継承に対してクラブ賞受賞

山梨県国民文化祭「鳴門」上演

あつぎひがし座応援会設立

厚木市市制六十周年特別表彰、郷土芸能の伝承と後継者育成の尽力に対して受賞

「あつぎひがし座創立四十周年記念誌」発行

海老名演劇鑑賞会第一八三回例会「三番・寺子屋」上演

令和元年 新型コロナウイルス拡大により第四十六回自主公演中止

きらめくかながわ民俗芸能祭出演（無観客配信公演）、第四十七回自主公演（無観客配信公演）はびろぐリモート・ワークショップ出演

「あつぎ郷土博物館」人形浄瑠璃」出演（厚木市文化会館改修工事のため）

令和二年 令和三年 令和四年 令和五年 令和六年



「月姫・星姫」のチラシ



うさぎのピョン子